

個別目標Ⅱ－４

豊かな地域文化をはぐくむまち

1 望ましいまちの状態

区内では展覧会や舞台公演などが開催され、身近に文化や芸術にふれる機会に恵まれています。区民も自発的に様々な文化芸術活動に取り組み、活動の輪が広がっています。また、地域には歴史・文化・芸能などを継承し、発展させる意識が育ち、地域特有の豊かな文化が大人から子どもに受け継がれています。

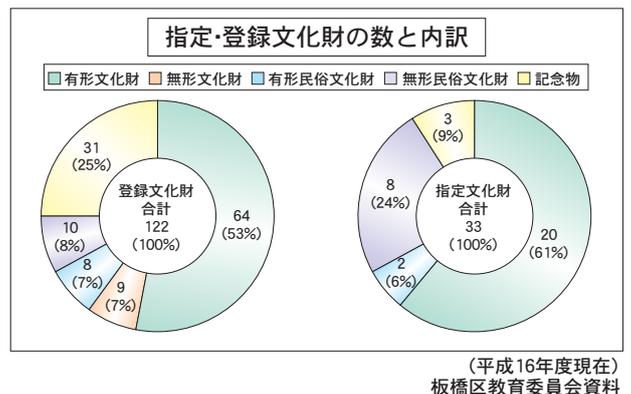
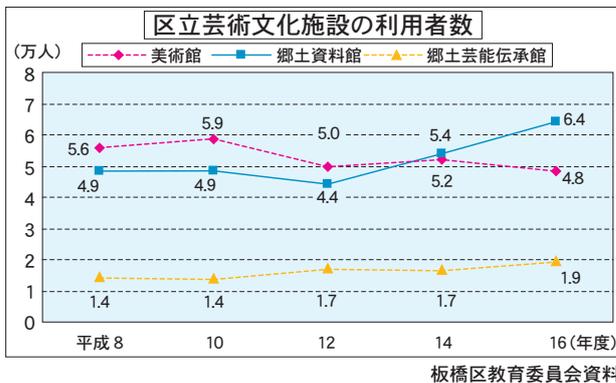
2 現状と課題

文化芸術は人々に楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらし、豊かな人間性を養い創造性を育むものであり、文化芸術を通して表現力を高めることは、相互に理解し尊重しあう土壌を生み出すものです。

区には、江戸五街道に挙げられる中山道第一の板橋宿や地域に残る神社仏閣などの歴史的資源とともに、地域の歴史や風土に培われた田遊びや獅子舞など、多くの民俗芸能が継承されています。

また、地域センターや集会所などを活動の場として、区民の自発的な文化芸術活動が様々な分野で行われています。

今後は、区民生活の精神的な豊かさと地域社会の連帯意識をはぐくみ、文化芸術活動をまちづくりの原動力として高めていくために、文化芸術振興に関する取り組みを強化していくことが必要になっています。



3 各主体の主な役割

区民

- 文化芸術の鑑賞・創作・表現活動への参加
- 活動団体相互の理解と尊重
- 歴史・伝統文化の理解と保存・継承
- 地域の自然・歴史・文化・芸術を大切にする意識の高揚

など

事業者

- 文化芸術に対する企業支援
- 自主的な文化芸術活動の展開
- イベント等の協賛

など

区（行政）

- 文化芸術に関する活動の支援・活性化
- 文化芸術に関する情報の発信
- 歴史・伝統文化の意識啓発
- 歴史・伝統文化の保存と継承の支援

など

町会・自治会、NPOなど

- 歴史・伝統文化の保存と継承
- 文化芸術に関する活動の多様な場づくり
- 文化芸術に関する活動の情報交換とネットワーク化

など

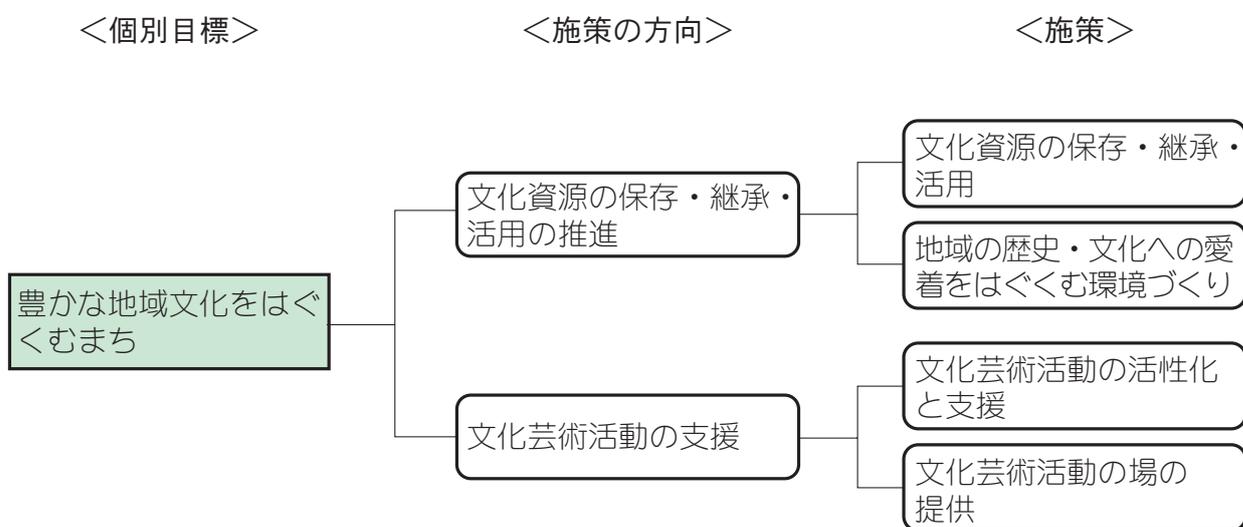


4 施策の方向

● 施策の基本方針

文化資源の保存・継承・活用を推進し、優れた文化芸術活動にふれる機会を充実させるとともに、区民が自発的に取り組む文化芸術活動を支援します。

■ 施策体系



■ 施策の概要

1. 文化資源の保存・継承・活用の推進

(1) 文化資源の保存・継承・活用

文化団体をはじめとした多様な主体の連携により、歴史や文化などの資源の保存・継承に努めるとともに、板橋区に根付く文化として発展させ、観光やまちづくりへの活用を図ります。

(2) 地域の歴史・文化への愛着をはぐくむ環境づくり

学校教育や生涯学習を通じて、地域の歴史・文化などに対する意識の醸成を図り、保存・継承・活用への区民の自発的なかわりを促し、区への愛着やふるさと意識を高めます。

2. 文化芸術活動の支援

(1) 文化芸術活動の活性化と支援

各種イベントや公演などの表現の場の充実に努めるとともに、主体的な活動を行う団体のネットワーク化や情報提供など、活動の活性化のための支援を行います。

(2) 文化芸術活動の場の提供

道路・公園などの公共空間や既存施設を活用したイベントの開催などとともに、様々な文化芸術活動の場の提供を図ります。



5 成果指標等

■ 成果指標

指標項目	現状値	目標値 3年後	目標値 10年後	指標選定の考え方
伝統芸能が受け継がれていると感じる区民の割合	27.4% (17年)		55.0%	伝統芸能の継承状況に対する区民意識を示す
歴史的文化財が保存・活用されていると感じる区民の割合	33.1% (17年)		58.0%	歴史的文化財の保存環境に対する区民意識を示す
文化芸術に親しみやすいと感じる区民の割合	25.8% (17年)		52.0%	文化芸術にふれあう環境に対する区民意識を示す
文化会館ホールの稼働率 大ホール・小ホール	大ホール 68.4% 小ホール 56.6% (16年度)			文化活動の活発さを示す
指定・登録文化財の数	122 (16年度)	131	152	文化的資源の充実度を示す
美術館入館者数	48,369人 (16年度)	53,000人	55,000人	文化芸術への関心度を示す
郷土資料館入館者数	64,226人 (16年度)	65,000人	66,000人	歴史・文化への関心度を示す

□ 参考指標

指標項目	現状値
区民文化祭出演者・観覧者数	8,070人・220,559人 (16年度)
郷土芸能伝承館登録団体数・利用者数	79団体・19,391人 (16年度)

